

ひょうご

421

MIN-IREN

2025.1・2
合併号



み(巳)んなの思いは1つ
SDGsで持続可能な世界を！

わたしたちは組合員と共に、SDGsの達成に
つながる医療生協の取り組みを地域に広げます。

たじま医療生活協同組合 職員一同



巳年の今年こそ、
社会保障の削減を許さず
拡充を求める運動を地域から
起こしていきましょう

兵庫県民主医療機関連合会
会長 大澤 芳清



新年あけましておめでとうございます。

昨年は自然の大きな力を感じた1年でした。能登半島地震に始まり、各地で起きた豪雨災害や夏の高温で私たちの活動や生活は大きな影響を受けました。そして、私たちの運動が実った1年でもありました。旧優生保護法に違憲判決がだされ、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。国民の政治への不信から、総選挙では自公政権は過半数割れの事態となりました。

2025年は戦後80年になります。ウクライナやガザの壊された街や傷ついた人々、食糧を求めて集まる子どもたちの姿を、私たちはテレビやインターネットなどで見てきました。戦争はすぐに終わらないことを私たちは学びました。たくさんの命が失われても、武力対武力では問題は解決していません。私たちが望む平和とは何かを考えて運動をしていきたいと思えます。

今年巳年です。蛇は医療の象徴としてWHOや世界の救急車などで使われています。ギリシャ神話に出てくる名医のアスクレピオスが持つ杖に、蛇が巻きついていたことによるそうです。財務省は、2025年度の予算作成にあたり社会保障の削減を明らかにしました。巳年の今年こそ、社会保障の削減を許さず拡充を求める運動を地域から起こしていきましょう。

本年も民医連綱領の実現をめざす兵庫民医連の活動にご支援とご協力をお願いいたします。最後になりましたが、みなさまのご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさついたします。

2025 わたしの今年のテーマ わたしは今年〇〇します!宣言



各法人より「わたしは今年〇〇します!宣言」をしてもらいました!

つながり

あたしたちは「地域の医療機関や患者様とのつながりを大切に」します。

尼崎医療生協病院 地域連携相談センター
大濱 奈緒子・柳山 佐紀



スキルアップ

あたしは「介護福祉の試験に合格」します。

社会福祉法人駒どり
特別養護老人ホームふたば
レイ ティ ロアン



地球温暖化防止

あたしは「エアコンの使用時間を1日1時間短く」します。

社会福祉法人虹の会 事務局
山岡 潤子



SDGs

あたしは「省エネ・節電」します。

社会福祉法人虹の会 事務局
三宅 由里子

気候変動

あたしは「節電・節水などエコな生活を心掛けて、地球環境を守ります!」

姫路医療生活協同組合
生協本部 地域サービス部
原 典子



健康づくり

あたしは「健康チェック、健康ウォーキング、健康づくりイベントを広げていこう!」します。

神戸医療生活協同組合
本部・健康まちづくり部
宇都宮 裕



健康

あたしたちは「心も体も転ばないように鍛錬」します。

尼崎医療生協病院 内科外来
近藤 千代子・阪上 亜紀子・
山本 千登代・塚本 友紀



あたしは「今年こそは…法人全体の親睦会をしたい」。

たじま医療生活協同組合
居宅介護支援事業所えがお
宮田 由紀・鎌田 秀子・鎌田 美登里

職員の交流を深めたい



時間を有効に使う

あたしは「スケジュール管理をしっかり行うように」します。

神戸健康共和国 総務部
中島 秀太



あたしは「2024年を振り返り2025年には花を咲かせ」ます。

宝塚医療生活協同組合
本部事務局
中田 幹二



復活

平和

あたしは「平和への第一歩。敬意と感謝の気持ちで接」します。

社会福祉法人駒どり
駒どりの郷介護相談室
古宮 智子



平和 (核兵器禁止条約の署名・批准を求める取組)

あたしは「原爆の悲惨さを多くの人に共有すべく広島市立基町高校生が描く『原爆の絵』展示を推進」します。

神戸医療生活協同組合
本部・健康まちづくり部
小仲 ひとみ



事業所・職場紹介

輝いています！

入居者の方が 「その人らしい生活が送れる」ように、 職員一同、出来る事を実践しています

社会福祉法人虹の会 高齢者総合福祉施設あまの里 施設長 園田 奈津子



高齢者総合福祉施設あまの里は、尼崎医療生活協同組合の組合員が「自分たちが利用できる特養をつくろう！」という合言葉で寄付金運動を行い、2006年8月に開設した施設です。現在、特養は80床。そのうち空床利用型のショートステイ4床とデイサービス定員35名で、毎日にぎやかに運営しています。あまの里では大きく3つの取り組みに力を入れています。

①「虹の会10の基本ケア」を通して、理念を実現する

「虹の会10の基本ケア」の取り組みを始め2年ほど経ちます。各部署によって歩みは様々ですが、目標である標準化に向

け粘り強く頑張っています。「10の基本ケア」を進める事で入居者の出来る事が増えたり、「尊厳」や「その人らしさ」を考える場面が増えました。朝礼で理念「高齢者や障がいのある方がその人らしい生活が送れるよう援助する」の唱和を行い、理念が職員に浸透してきました。入居者に寄り添い、自分たちが最期まで看たい！と言ってくれる職員も増えました。

②職員のレベルアップ

うちの職員は座って勉強するのが苦手です。座ると寝ます（笑）。ですが、毎月15分学習会を行い、ミニテストや感想は真面目に取り組んでいます。「緊急時の対応」に特に力を入れており、今年度は3ヶ月かけて全介護職員に学習会を行いました。知識を得る事は不安を減らし自信に繋がると信じています。

③年間を通じて、全部署参加の行事を実施

食べる行事が大好きで、食を通して入居者に季節を感じても

らっています。おやつバイキング、毎月の食事レク、お祭り、餅つき等。出てくる食べ物はすべて職員の手作りです。食いしん坊の職員が多く、全て美味しいです。星3つです。行事の時の入居者と職員の表情は最高です。行事には入居者家族に入って頂いている家族会にも協力して頂いています。

これからもこの3つの取り組みを継続し、入居者が安心できる終の棲家としての役割と、地域貢献できる施設として、職員一同頑張ります。



事業所の窓から～歴史と地域紹介～

社会福祉法人虹の会

今年一年の願いを込めて…

18

尼崎で初詣に行こう!!

社会福祉法人虹の会は、尼崎市で特別養護老人ホーム・デイサービス・訪問介護・福祉用具レンタルサービス等、6つの福祉事業所を運営しています。

「新年号」にちなみ尼崎市で初詣におすすめの神社をご紹介します。

■水堂須佐男神社

虹の会の施設・立花あまの里からも歩いて数分のところにある水堂須佐男神社は、安土桃山時代（1575年）に創建されたと伝えられています。

境内地のほぼ全体が間口50メートル、奥行き60メートルの前方後円墳で、水堂古墳と呼ばれ、尼崎市指定文化財になっています。

拝殿の天井には滋賀県大津市在住の画家・鈴木靖将さんが描かれた天井画「万葉の花」があり、その大きさは東西8メートル、南北4メートルと圧巻です。水堂古墳の被葬者と、阪神・淡路大震災の犠牲者の霊に捧げる意を込めて作成された天井画は水堂須佐男神社の貴重なシンボルです。



■貴布禰神社

「尼のきふねさん」として親しまれている尼崎市を代表するお宮です。毎年8月に行われる夏祭りは、約8万人もの参拝客で賑わいます。

創建年代は明らかではありませんが、摂津志（江戸時代の享保年間に編纂された畿内5か国の地誌）には嘉暦元年（1326年）に創建されたと伝えられています。

戦火に遭い社殿をはじめ境内建物のほとんどを焼失しました。現在の社殿は昭和25年に阪神間ではいち早く復興されたもので、その後、平成14年に大改修工事を行いました。

国道43号線に面した大鳥居は、珍しい深緑色をしています。朱塗りの鳥居ではご社殿とのバランスを欠くこと、また国道43号線沿いという環境事情から汚れが目立たない深緑色が選ばれました。



■尼崎えびす神社

尼崎えびす神社は醍醐天皇（平安時代897年即位）時代以前の創建であると伝承されています。商売繁盛の神様「尼のえべっさん」としても親しまれ、1月9日・10日・11日に行われる十日えびす大祭は大変な賑わいです。「商売繁盛で笹持って来い！」の掛け声と共に盛り上がる十日えびすのメインは「福笹」です。笹に大判・小判・絵馬など縁起物を付け飾ることによって1年間えびす神様のご神徳を授かります。

神社にそびえ立つ大鳥居は高さ17メートルと圧巻の大きさ!!まさに尼崎のシンボルとなっています。



県連事務局員着任のお知らせ



村瀬 和人さん

この度、医学生担当をすることになりました村瀬和人です。神戸健康共和会からの出向になります。10年近く前のこと、同じく医学生担当をさせてもらっていました。当時担当していた医学生たちが現在医師として活躍されている姿を見て、とても感慨深いです。よろしくお祈りします！

兵庫民医連 第49回学術運動交流集会

日時 2025年2月16日（日）10時～16時

会場 神戸国際会議場

【メインテーマ】

医療・介護の連携と共同組織の力で安心・安全のまちづくりを～ケアの倫理を深めてみんなで笑顔になろう～

【記念講演】

「あなたの介護は誰がする？ 川口啓子さん
介護と医療の連携が織りなす豊かなケアを」 (大阪健康福祉短期大学名誉教授)

読者の声

●以前県連ニュースにも載っていたPFAS問題の学習会が職場でありました。人間が自分達の利便性を思って作り出した物質が、環境を汚染し回りまわって身体に影響を及ぼすことが繰り返されていると感じました。

東神戸病院 黒瀬智子

●知り合いのおばあちゃんが自宅でこけてしまい、右手骨折…。ひとり暮らしですぐ入院になり、1時間でも帰りたいとリハビリをがんばってます。スタッフの皆さんが、かわいい、かっこいい、ので「推しメン」♡♡。ベッドサイドに来るのを楽しみにしています。あまり無理しないで～～。

尼崎医療生協病院 安田尚美

●文章を書くということは頭の刺激にもなり一石二鳥です。あやふやな漢字はスマホではなくあえて国語辞典で確認するようにしています。前号の職場紹介、「『やっぱり家がええわ～』この言葉を聞くたびに『この仕事をしていてよかった』」という所が心に沁みました。

ヘルパーステーションひだまり 有助辰恵

●人生100年といわれ、まだ30年近くあり、その頃はどんな社会になっているのか？想像がつかない。高齢者はより住みにくくなっていると思うので、健康維持が一番大切だと思っています。

ペンネーム まこ

●『いたやどの歴史』貴重な写真が残っていたんですね。組合員さんの頑張りの歴史ですね。

ペンネーム ナナ

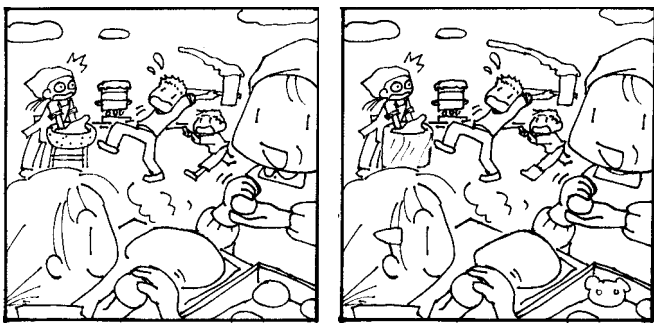
●「この地区の電波が入りにくくなってきているので、インターネットのルーターを無料で交換させてもらうから家の中に入って電波の確認をさせてもらいたい」と男の人の訪問がありました。この近辺でも確認する家があるので、一緒にどうですか、とのこと。家の中がごった返しているの、お断りしましたが、後で考えるとすごく怪しい内容でした。家が片付いていなかったのが幸いだったみたいです。

ヘルパーステーションあほし 栗林由季

まちがいさがし 1・2月

正解者のうち5名の方に図書カードを差し上げます。

まちがいは8つ



作・小田 求

【応募のきまり】

〈締切〉2025年2月7日（金）◇当選者は2025年3・4月号に掲載。

〈応募〉1人1通。はがき又はEメールで。

氏名（投稿はペンネームでも可）、院所名（職場・職種）、OBの方は在職時の法人名を記入の上、下記へ送付して下さい。

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3-7
兵庫民医連ニュース「クイズ」係

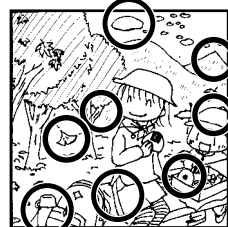
〈Eメール〉kikansi@hyogo-min.com

※余白に、①興味深かった記事と感想、②事業所での取り組み紹介、③近況、④ニュースへのご意見等、お書き下さい。

11・12月号の応募者は11名で全員正解でした。右記の5名の方に図書カードを進呈。

- ①ば な な（ペンネーム）
- ②松下 公典（ケアセンターふれあい）
- ③村川美和子（神戸医薬研究所OB）
- ④ま こ（ペンネーム）
- ⑤あーちゃん（ペンネーム）

11・12月号の答え



法人 topics

神戸健康共和国

連載コーナーです。

法人で“キラッと輝く”職員の、民医連で働き続ける理由や、こだわりを紹介します。

本部 組織部

もり ひろし
森 浩司さん

事務



入職したきっかけ

学生時代にアルバイトしていた事業所で、介護保険制度開始前から取り組まれていた訪問入浴サービスに職員・組合員と一緒に関わったことや、社会保障改善を求める署名運動にも参加したことで、地域密着の取り組みと生存権を守る運動に魅力を感じたことがきっかけです。

民医連で働き続ける理由

地域や人を見る視点として大事にしているのが「日本国憲法25条」「健康の社会的決定要因」です。医療・介護に留まらず、交通環境や地形なども視野に入れて、「誰もが安心して住み続けられるためには何が必要か」を考えながら問題提起をし、神戸電鉄への敬老・福祉パス適用運動など住民のみなさんとともに運動してきました。

プライベート

写真撮影が趣味で、幾度か雑誌「民医連医療」の表紙に掲載していただきました。受け継いだ農地で野菜を育て、西瓜や白菜などを売っています。地元では里づくり協議会や消防団などの役職を担い、業務で得た経験と知識も活かして学習会を開催するなど地域の福祉の向上と防火・防災活動に取り組んでいます。



神戸健康共和国

外来フロアでの公開講座 「糖尿病とフレイル予防」

東神戸病院栄養科 森本 徹

11月16日に東神戸病院の外来フロアで公開講座を開催しました。糖尿病グループの職員が企画し、一般10名・職員19名が参加しました。

学習は二部構成とし、第一部は私が「糖尿病の食事とフレイル予防」についてお話し、第二部は歯科訪問診療に力を入れている「なかにしホームケアクリニック」の中西正子医師から「糖尿病とオーラルフレイル」についてお話いただきました。最後にリハビリテーション科職員の指導でフレイル予防体操をしました。

往診している患者さんの事例を通して糖尿病と歯周

病の関係が学べ、フレイル予防についても体と口の両方について理解できる内容となりました。

病院のHPH委員会地域チームでは、外来フロアでの公開講座の定期を計画しており、地域の健康度アップに貢献する病院を目指します。

